

みんなで考えてみませんか？鳥獣被害対策

■鳥獣被害対策連絡協議会を開催

町の鳥獣被害防止対策などについて検討する国見町鳥獣被害対策連絡協議会が7月24日、国見町役場で開かれました。

会議では、町の鳥獣被害の現状と課題や被害防止対策、クマ出没時の緊急連絡体制などについて協議し、関係機関や地域のみなさんと連携・協力しながら鳥獣被害の未然防止に取り組んでいくことを確認しました。

■鳥獣被害の現状

昨年度の農作物被害額は、平成28年度以前と比較すると大幅に減少していますが、これは侵入防止柵の設置やカラスの一斉追払いの実施、生産者への電気柵設置補助金の支給など、被害防止対策により一定の効果を上げているものと考えています。一方で、平成30年7月末現在におけるイノシシやツキノワグマなどの有害鳥獣捕獲数は、昨年度を上回るペースとなっています。

■今後の課題

狩猟者の高齢化による有害鳥獣捕獲の担い手不足が深刻化し、狩猟者の育成・確保が急務となっています。また、農作物被害により営農意欲が低下し、耕作放棄地が増え、さらなる鳥獣被害を招くという悪循環が生じており、被害額の数字に表れる以上に深刻な状況となっています。



町内で捕獲されたイノシシ

野生鳥獣による農作物被害額 (単位:千円)

品目	H27	H28	H29
野菜	617	41	51
果樹	5,453	1,430	452
水稲	155	48	0
合計	6,225	1,519	503

※被害報告のあったものを集計

主な有害鳥獣の捕獲状況 (単位:頭数)

鳥獣の種類	H29	H30※	前年比
イノシシ	45	52	116%
ツキノワグマ	2	7	350%
ハクビシン	47	28	60%

※平成30年7月31日現在

対策 町では、鳥獣被害を未然に防止するため、各種対策に取り組んでいます。

1 生産者の被害防止対策

生産者による営農活動にあわせた農地巡回、駆逐用火などによる追払いを実施し、被害の未然防止に取り組んでいます。

※駆逐用火は産業振興課で配付しています。

2 電気柵等の防護柵の設置推進

有害鳥獣から農作物を守るため、生産者の電気柵設置にかかる資材購入費に対し、予算の範囲内で補助金を交付しています。

農業用地 事業費の2/3 (上限50,000円)

家庭菜園 事業費の1/3 (上限30,000円)

3 新規狩猟免許取得の支援

新規に狩猟免許を取得する生産者に対し、補助金を交付しています。

- ・対象経費の1/2 (限度額15,000円)
- ・網罟、わな猟免許取得にかかる狩猟免許受験手数料および県猟友会が開催する初心者狩猟免許講習会受講料

4 侵入防止柵の設置

侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)の設置を推進し、設置後に適正な管理を行う集落・地区に対して、侵入防止柵の修繕用資材を交付しています。



防止柵設置の様子

5 町鳥獣被害対策実施隊

町では、鳥獣被害防止計画に基づき、平成24年に鳥獣被害対策実施隊を結成し、対象鳥獣の捕獲などの活動に取り組んでいます。

主な活動

- 捕獲檻の設置・点検、巡回
- 追払い、集落パトロール
- 捕獲駆除 など

6 自主的な取り組みへ

集落座談会や被害対策講習会を開催し、被害防止対策の知識習得と自助意識の醸成を図ります。

集落環境点検を行うことで、餌となる放任果樹の把握、緩衝帯の整備など、生息環境管理を含めた総合的な対策の必要性と有効性について町民のみなさんに理解してもらい、集落の自主的な取り組みへとつなげていきます。

国見小児童が交通安全を呼びかけ

国見町小学生交通安全標語コンクール表彰式



交通対策協議会長賞(最優秀賞)を受賞したみなさん

【国】見町交通対策協議会

(太田久雄会長)は、

交通安全への意識を高めてもらうことを目的に、国見町小学生交通安全標語コンクールを毎年開催しています。今年度の標語コンクールの表彰式が7月6日、国見小学校で行われました。コンクールは国見小学校の児童を対象に交通安全標語を募集し、応募総数237点の中から、入賞作品26点選ばれました。入選した標語が書かれた看板は町内各地に設置され、交通事故防止を呼びかけます。

【入選者】 (敬称略)

- ◆交通対策協議会長賞
 - 高橋 一陽(一年)
 - 後藤 玲音(二年)
 - 佐藤 凪(三年)
 - 菊地 瑠菜(四年)
 - 八巻 蓮(五年)
 - 吉田 咲菜(六年)

◆教育長賞

- 中條 維知(一年)
- 秦 唯斗(二年)
- 佐々木 遼(三年)
- 後藤 寛也(四年)
- 氏家 文寧(五年)
- 榊 優来(六年)

◆優秀賞

- 高橋 里菜(一年)
- オスタフイエンソフィア(二年)
- 齋藤 隼実(三年)
- 五十嵐愛桜(四年)
- 渡邊 愛菜(五年)
- 赤井畑有美(六年)

◆交通安全協会各部長賞

- 藤田・穂苅 綸(二年)
- 小坂・菅野ひより(六年)
- 森江野・オスタフイエンソフィア(六年)
- 大木・大沼 紅寧(二年)

◆各地区交通安全母の会長賞

- 藤田・高橋 利綱(二年)
- 小坂・紺野 愛莉(二年)
- 森江野・井砂 海志(二年)
- 大木・寒河江智也(二年)

夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

交通事故ゼロへ 各地でキャンペーン



安全運転を呼びかける佐藤副町長

【みやぎ・ふくしま県境キャンペーン】

宮城県白石市と国見・桑折地区合同の「夏の交通事故防止みやぎ・ふくしま県境キャンペーン」が7月20日、国道4号斎川パーキング(白石市)で行われました。関係者、管内の交通安全団

体関係者が参加。また、「くにみもたん」や桑折町の「ポタピー」、白石市の「ポチ武者こじゅーろー」も駆けつけ、キャンペーンを盛り上げました。参加者は、ドライバーのみなさんに国見町のあつかしクッキーや桑折町の至福の桃ガミ、白石市の白石温麺、チラシなどを配りながら、シートベルト着用や飲酒運転の撲滅を呼びかけました。

【道の駅で交通安全啓発】

国見町交通対策協議会は7月23日、道の駅国見あつかしの郷で交通安全啓発活動を行いました。会員のみなさんは、来場者にチラシや啓発グッズを配布しながら、交通事故防止を呼びかけました。



交通事故に気を付けてね